

「阿波おどり未来へつなぐプロジェクト」開催報告について

令和3年1月21日（木）から徳島市において、徳島市阿波おどりをリスタートさせるための機運を醸成し、打撃を受けている本市の地域経済の活性化を目的とし、市内中心部においてイベントを開催しましたので、開催結果をご報告いたします。

1 イベントの概要

(1) 開催日時

令和3年1月21日（木）～2月19日（金） 18:00-22:00

(2) 開催場所

藍場浜公園（徳島市藍場町）

(3) 開催内容

LEDで彩られた仮設徳島城を設置し、天守閣部分に大型スクリーンを備え、プロジェクター投影により阿波おどりの映像や再開に向けたメッセージを映し出し、市民や阿波おどりファンの方々に観覧していただいた。

また、会場に来られない人にも映像を見てもらえるよう、YouTubeによる動画配信を行った。

(4) 感染症対策

以下の感染症対策を講じて実施した。

- ・密集・密接を避けるため、周囲にA型バリアードを設置することで観覧エリアを区分し、観覧エリア内への入場人数を50人以下に制限。
- ・映像の観覧は立ち見とし、観客間の距離を前後左右2m以上確保。
- ・映像は10分と短めにし、映像と映像の間に10分間の休憩時間を設けることにより、濃厚接触とならないよう努めた。

観客の皆様への注意喚起については、以下のとおり。

○以下の事項に該当する場合は来場を遠慮してもらおう。

- ・体調がよくない場合（発熱、咳、咽頭痛、倦怠感、味覚・臭覚異常など）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限等を必要とされている国、地域などへの渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

○観覧の際には、ソーシャルディスタンスを保ちマスクの常時着用をお願い。

○観覧エリア入場口で検温、消毒、マスク着用、受付用紙に必要事項の記入をお願い。

(検温により、37.5℃以上の発熱が確認された場合は入場不可。)

- 観覧中は大声を出さず、会話もできる限り控えること。
- 感染症対策として会場内にゴミ箱を設置しないため、ごみは各自で持ち帰ること。
- スマートフォンを持っている人は、「とくしまコロナお知らせシステム」アプリの登録や、接触確認アプリ「COCOA」のインストールをお願いすること。
- 新型コロナウイルス感染症の状況により、点灯時間の短縮、イベントの一時中止、又は中止することがあること。
- その他、感染防止のために主催者が決めた措置や主催者指示を遵守すること。
- 当日の天候により、イベントを中止する場合があること。

2 開催判断

新型コロナウイルス感染症による開催判断について

新型コロナウイルス感染症については、とくしまアラートの区分に照らし、次のとおり取り扱うものとした。

なお、会場で多くの感染疑い者が発生した場合は直ちにイベントを一時中止し、主催者と受託者との協議により継続の可否を決定するものとした。

感染観察	注意		通常通り
	強化		通常通り
感染拡大注意	漸増		時間を短縮して継続 例) 18時～21時
	急増	イベント開催の見直し	時間短縮及び収容人数を50人→25人以下として継続、又はイベント一時中止。 1週間経過観察後、再判断 再開、一時中止期間の延長
特定警戒		イベントは原則、開催自粛	イベント一時中止、又はイベント終了。 1週間経過観察後、再判断 一時中止期間の延長、終了

※1 イベント一時中止とは、ライトアップ・映像投影を一定期間中止することをいう。

※2 徳島市外で感染者が急増している場合であっても、アラートは県下全域に対して出されていることから、一時中止措置を取ることとする。

※3 急増においても、特定警戒に近くイベントを継続できないと判断した場合、一時中止とする。

※4 特定警戒においては、イベントを一時中止し、感染拡大の傾向によってイベントを継続できないと判断した場合、終了とする。

▶イベント終了までの間、徳島県ではアラートが発令されなかったため、イベントの時間短縮や一次中止などは実施しなかった。

①警報発令及び雨天の場合

イベント開催日の正午までに主催者と受託者の協議により開催方針を決定し、関係者に報告する。

③天候急変の場合

イベント続行の可否について、主催者と受託者の協議により開催方針を決定し、関係者に順次報告する。

▶イベント終了までの間、風雨が強まった影響で、2度の時間短縮を行った。

3 来場者数

イベント来場者数 約4,600人

・観覧エリア内合計	881人
・観覧エリア外合計	3,710人

※エリア内へ入るには、受付が必要となるが、エリア外でも十分映像が見えることから、エリア内に入らずエリア外から見る人が多かったため、係員が巡回し計測を行ったもの。

4 今年の阿波おどり再開を願うメッセージや思い（一部抜粋）

メッセージ件数合計 177件

- ・ぜひ今年は開催してほしい。
- ・コロナ対策を十分に実施してほしい。
- ・楽しみにしています。待ちどおしいです。
- ・なんとか小規模でも再開してほしい。
- ・コロナに負けないでがんばってやって欲しい。
- ・今年こそ阿波おどりを見たい。
- ・コロナが落ち着いたら是非してほしい。
- ・今年はおどりたい！！早く踊りたい。
- ・また阿波おどりをみんなで踊りたい。
- ・再開を心待ちにしています。みんなで一緒に！
- ・阿波おどりをまた楽しめる日々をまっています！
- ・ぜひ開催して徳島を盛り上げてほしい。
- ・踊りの練習をしてきた人が阿波おどりが開催されなければとても悲しいと思うのでぜひ開催してほしいです。
- ・海外まで人気のある阿波踊りを元気に復活させて踊りを通じて世界が一つになればいい。
- ・阿波おどりで元気が出る人が多いので、阿波おどりをしてほしいです
- ・阿波踊りは世界に誇れる徳島の祭りです！
- ・徳島を代表するイベントなので頑張してほしいです！
- ・期間中も仕事ですが、毎年活気があり、仕事もより頑張れました。徳島県にとって、なくてはならないものだと去年本当に実感しました！
- ・徳島の夏は阿波おどり、盛り上げてほしい。
- ・たぶん今年もコロナ禍で制限の中になるとは思いますが何かの形で阿波踊りを実施してほしい。
- ・おどり大好き！！
- ・にぎわいがほしいです。コロナの暗いイメージを消してほしい。
- ・参加者1人1人が気をつけて、阿波おどり再開を期待しています。
- ・新しいスタイルを取り入れて、コロナを乗り越え新たな盛り上がりを作り出してほしいです。
- ・踊り手の方も、運営の方もがんばって下さい。
- ・阿波おどりは徳島の財産なのでぜひやってほしい

5 まとめと分析

①機運醸成

イベント来場者数は、観覧エリアに入場した人が881人、観覧エリアに入場しなかったものの、エリア外から鑑賞していた人が約3,700人であった。

また、同時に実施したYouTubeでの動画配信は、オープニング映像、市長挨拶、3パターンの阿波おどり動画及びメッセージなど、すべての動画を合計した総再生回数は3月1日現在で1,333回であった。

来場者に対するアンケート調査を実施したところ、255件の回答が得られ、「イベント内容についてどう思いましたか」という設問では、回答者の67%が「良かった、まあまあ良かった」と回答する一方で、コロナ禍でのイベント開催に対する厳しい意見も6%あったが、それ以上に「コロナ禍で落ち込んだ気分を元気にしてくれた」や、「踊りの灯があるのはとても元気になる」といった前向きで肯定的な意見も数多くあり、踊りの灯を絶やしてはならないという思いが感じられた。

本イベントを開催することで、市民生活に根ざした阿波おどりという伝統文化の持つ意味をしっかりと情報発信するとともに、徳島市の重要な観光資源である阿波おど

りを衰退させることなく未来につないでいくという強い決意を県内外に向けてアピールすることにより阿波おどりのリスタートに向けた機運醸成の一助になったものと考えている。

②経済効果

イベント来場者が徳島駅前周辺で行った消費活動は、イベント会場で実施したアンケート調査の集計から、買い物が約 2,290 千円、飲食が約 440 千円であり、合計すると、約 2,730 千円の経済効果があったと推計できる。

また、周辺の商業施設 9 カ所に対して聞き取りを行ったところ、『新型コロナウイルス感染症の影響により客足が減っていたこともあるが、イベントが始まった週末から客足が伸びており、一定の集客につながっているのではないか』や『客足が伸びているとは感じられなかったが、今後も駅前の集客につながるイベントをどんどん実施してほしい』などの回答があった。新型コロナウイルス感染症の中でのイベント開催は難しいながら、必要性を感じる事が出来た。

徳島市経済部経済政策課
徳島市幸町 2 丁目 5 番地
(088)621-5225